

# 2度目の人生 日本がくれた



臍帯血移植の手術が成功し、笑顔を見せるターラ・エンリレさん=20日、名古屋市中村区の名古屋第一赤十字病院で

急性骨髄性白血病を患い、名古屋第一赤十字病院(名古屋市中村区)で昨年十二月に臍帯血を移植した愛知県一宮市のフィリピン人女性ターラ・エンリレさん(38)が、順調に回復している。病院の医師団は移植した臍帯血から健康な血液が造られる「生着」を確認し「手術は成功した」と判断した。

病状の安定を待ち、早ければ一、二週間ほどで退院できる見通し。ただ、感染症や白血病の再発の可能性があるため、主治医の川島直美医師(38)は「今後二年程度、再発が起きないか慎重に見ていく」と話す。

エンリレさんは「二度目

## 一宮の比女性、臍帯血移植に成功

の人生をもらえた気持ち。元気になったら同じ病気の人に、どんなに大変でも希望があることを伝えていきたい」と喜んでいる。

エンリレさんは二〇二二年一月に発病。複数の人種が絡む混血で免疫組織の型が非常に希少だったため、国内の骨髄、臍帯血のバンクや、日本と提携する海外の骨髄バンクでも適合型が見つからなかった。

昨年十一月、同病院の医師が米国の臍帯血バンクに適合する型を見つけ、移植が実現した。手術費用は一宮市の市民有志が寄付を募り、全国から計一千万円以上が集まった。

(安福晋一郎)